



新年明けましておめでとうございます。小学校は昨日、1月7日に三学期がスタートしました。幼稚園は今日からスタートします。元気の良い子どもたちの声が学校園に響き渡り、学校園に活気が戻ってきました。巳年は蛇が脱皮するように新しい自分に出会える年とも言われています。子どもたちが立てた目標が達成できるよう、職員一同、力を合わせて頑張っていきます。今年もよろしくお祈りします。



## 3 学期スタート

正月の風物詩となっている箱根駅伝が2日と3日に開催されました。箱根駅伝は今年で101回を迎え、正月の風物詩になっています。今年もたくさんのドラマがありました。感動の場面を3つ紹介します。

1つ目は、給水の場面です。区間を走ることができるのは10名の選手です。多くの選手が箱根駅伝を目指し、頑張って練習を積み重ねています。でも、選手に選ばれるのは10人です。選ばれなかった部員が給水係になって、50mほどを伴走してドリンクを渡して、選手を励ましていました。表舞台に出る人だけの大会ではなく、力を合わせてチームで戦っているのがよく分かりました。

2つ目は、中央大学の10区のアンカーを走った藤田選手の走りです。藤田選手は、昨年、お母さんを亡くして一度は走ることを諦めようとしたそうです。しかし、お母さんが残した「箱根の夢だけは忘れないで」という言葉に支えられ、走り続けることを決めたそうです。部員の仲間にも支えられ、アンカーを任せられ、走り抜きました。

3つ目は、沿道の応援です。伴走車に乗っている監督が選手の名前を叫び、沿道で応援している人がリズムよく選手の名前を連呼する場面がありました。一生懸命に走っている選手に温かい応援を送るいい場面でした。

目標を持って頑張る素晴らしさ、支えがあって頑張れる応援の素晴らしさがいっぱい詰まっています。昨年の兎塚小学校の長距離記録会もとても素晴らしい応援で、みんな目標に向かって頑張って走り抜きました。三学期はまとめの学期です。みんなで支え合って、よい一年間の締めくくりをしてほしいと思います。

## 特別活動

令和8年度の10月30日に、兎塚小学校で但馬小学校特別活動の研究大会を開催します。今年度から「豊かな関わりを通して、つながり認め合える子どもの育成」を研究のテーマにして、特別活動の研究を行っています。学級活動における話し合い活動を充実させ、兎塚っ子の良さを生かした全校活動や異年齢活動に取り組んでいます。また、地域の豊かな自然を再認識し、兎塚の良さを知る活動にも取り組んでいます。

今年度、新たに始めた活動の一つにコミュニケーションワークショップがあります。非認知能力の向

上を目指して、江原河畔劇場の俳優さんを招いて取り組んでいます。お題をもらってグループで話し合い、ストーリーを作ります。みんなで考えを出し合いながら工夫して表現を考えます。そして、他の班の人たちの前で発表をします。江原河畔劇場の俳優さんが表現の工夫や良かったところを紹介してくれます。表現することの楽しさ、コミュニケーションを通じて表現が高まっていくことを実感しています。

#### 〈児童の感想より〉

ワークショップは大切だと思ったし、つなひきのジェスチャーをやって楽しかったです。みんなのげきも面白かったです。みんなで力を合わせて作り上げることができてうれしかったです。「あやつりゲーム」ではAさんとやって、Aさんがあやつってくれて、わたしも楽しくできました。おもしろかったです。じゃんけんはいろんな人とできてうれしかったです。



げきで「もちつき」をやって、ぼくが思ったことは、Bさんの「はちみつとり」は練習ではやってなかったけど、ちゃんとみんなに分かっていたところがすごかったです。ぼくは、もちをつくかかりだったけれど、もっと上手にやりたかったです。こんどやる時は、重そうな感じをしたら上手にできると思います。

話したいけど、きんちょうする時があって、でもワークショップをして勇気を出して話したら、相手の気持ちもよく分かるんだなあ、と思いました。あと、げきをしているいろんな人の個性が出ていて、みんなの伝えたいことが分かって、コミュニケーションはとても大切だということが分かりました。いつでもこのことを忘れないでいて、ふだんでもコミュニケーションをとるように心がけたいです。またこういう機会があったら、またやってみたいな、と思いました。



気づいたことは、話すことも聞くことも、コミュニケーションを取り合えているということです。じゃんけんでいろんな人と触れ合い、チームを組んでたくさんコミュニケーションを取ることができたので、楽しかったです。そして、みんな協力してジェスチャーのげきをしていたのがよく伝わりました。これからもたくさんコミュニケーションを取り合いながら生活していきたいです。

ワークショップで分かったことは、だれとでも仲間になれて、ゆずり合いが大切だと思いました。げきでは、仲間とお題をお客に伝えるように、そして、楽しめるように見てもらうよう協力してがんばりました。工夫した点は、おすしになっているか、本当のとおり近づけるようにしました。最初のじゃんけんゲームでは、だれでもいいから見つけてすることを学びました。今までやってきたことでも、また学べたのでうれしかったです。



コミュニケーションの力がついてくると、話し合い活動の時、意見の違いが生じてても、周りの状況や相手の立場などを考え、その場で適切な言動ができ、話し合い活動に深まりが生まれます。